

## アジア各国の灌漑用水を担当する行政官が JA たいせつ青年部 田んぼアート 2018 に参加 ～田植えを通じて、地域住民との交流を図る～

現在、JICA 北海道(札幌)では、東南アジア及び南アジア 6ヶ国(注1)から7名の灌漑用水に携わる行政官を受入れ、日本の灌漑システムを学ぶための「農民主体型用水管理システム(A)」研修コースを実施しています。研修員は5月16日に来日し、7月4日の帰国まで、大雪土地改良区その他、てしおがわ土地改良区、富良野土地改良区等で、現場視察や農家訪問、講義を受け、農業用水の効率的な活用や維持管理のための組織体制を学びます。

田んぼアート実行委員会ではJA たいせつ青年部が中心となり、2006年より生産者と消費者とのつながりを深め、消費者の方々に様々な視点から農業に興味・関心を持ってもらう目的で田んぼに苗を植え、絵を表現する『田んぼアート』に取り組んでいます。

7月中旬から8月中旬頃には、稲の葉色の違いを利用した緑・黄・紫の色が鮮やかにくっきりとした色彩で彩られ、水田に巨大な絵が浮かび上がります。

JICA 研修員は2014年より当イベントに参加し、延べ34名が参加しました。「田植え作業を通じて、地元の方々と話しができ、楽しいイベントだった」と感想を述べています。

田んぼが織りなすアートの魅力と北海道の灌漑用水システムの知見を学び、母国に活かそうとする途上国の行政官の姿を広く道内のみなさまに届ける機会になりますので、ぜひ取材をご検討ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 北海道（札幌）研修業務課 渡辺
TEL 011-866-8393 e-mail : Watanabe.Moriaki@jica.go.jp

6/8(金)の研修日程

日時		内容	場所
6/8(木)	9:30-12:00	【講義】下部組織との連携について	大雪土地改良区
	13:00-16:00	田んぼアート田植え作業	旭川市東鷹栖7線 18号

(注1) インド、カンボジア、ネパール、東ティモール、ブータン、マレーシア

